

保育園の自己評価		3. 保育園の職員構成・役割分担・研修	
<p>「保育所保育指針」の第4章 保育の計画及び評価に保育士等と保育所の自己評価が努力義務として示されています。</p> <p>保育所の自己評価について、保育指針では次のように規定されています。</p> <p>「保育所は、保育士の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない」</p> <p>そこで、新光保育園では、年1回の保育士等の自己評価を実施し、その結果を受け園の自己評価を年1回実施いたします。</p> <p>○評価…次の基準によって、評価欄に3・2・1とする。</p> <p>3…おおむね達成出来ている</p> <p>2…具体的に実施しているが成果が出てきていない</p> <p>1…具体的に実施していないため、成果も出ていない</p> <p>12月末までに保育士等が行った自己評価を元に園の自己評価をしたものです。</p>		<p>項目</p> <p>1 園長や主任の園務分掌がはっきりとしていて、それぞれの仕事 → を責任を持って行っています。</p> <p>2 豊かな集団の育成をめざしたクラス経営が進められ、各クラスの連携 → が円滑に行われています。</p> <p>3 危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が整えられています。 →</p> <p>4 園内外の研修は、計画的に実施されています。 →</p> <p>5 保育に関わる様々な知識や技能の向上に努め、悩みや疑問を解決する → ため、研修に参加したり専門書を読むなどして自己研鑽しています。</p>	
1. 保育の理念・保育観		4. 事務管理・運用	
項目	評価	項目	
1 保育士一人一人が浄土真宗に基づいた仏教精神を積極的に学び、一人 → 一人の命を差別なく、心から尊ぶ「まことの保育」に取り組んでいます。	2	1 子どもの個人記録は、個人情報保護法に基づいて管理しています。 →	
2 保育士一人一人が自己評価を行い、その問題解決のために向上心を → もって取り組んでいます。	3	2 職員に園内で知り得た事柄に対しての守秘義務を周知徹底しています →	
3 すべての子どもについて、一人ひとりの存在とその人権を尊重して → います。	2	3 帳簿類は、適切に記載し、整理保管しています。 →	
4 児童福祉法の理念に基づいて子どもの生活と健全な発達を保障する → ことが保育園の重要な使命であると理解しています。	3	4 定期的に（年2回）施設設備・遊具などの安全点検をしています。 →	
5 今日の保育園には、入園している子どもの保育だけでなくひろく → 地域の子育て支援をする、社会的役割があることを理解しています。	2	5 園運営が円滑に行われるように適切に予算を執行しています。 →	
6 障害を持つ子も持たない子も、ひとりひとりのありのままの姿を受け → 止め、健やかに成長することを願って保育をしています。	3	5. 開かれた保育園	
7 保育園の保育が、子どもの生涯の基礎を培う極めて大切な役割を担っ → ていると認識しています。	3	項目	
2. 保育計画・指導計画		1 小学校と連携し、交流する機会を持っています。 →	
項目	評価	2 子育て支援により、施設の開放・情報の発信をし、地域社会に開かれ → た物になっています。	
1 保育指針のねらい及び内容が、達成出来るような保育課程や保育計画 → になっています。	3	3 老人ホームを訪問し、お年寄りや園児のふれあいの場を大切にしてい → ます。	
2 保育計画に基づき、子ども一人ひとりの発達の姿や興味の対象の実態 → を把握して、月・週・日案などを作成しています。	3	4 子どもの心身の発達や育児不安などについて、気軽に相談できるよう → にしています。	
3 子どもの意欲を誘い、発達に必要な経験が得られるような環境 → 構成が十分工夫されています。	2	5 園生活の子どもの様子を保護者や地域社会に積極的に伝えて → います。	
4 職員間で、「子ども理解」を深め、お互いの考えを十分に理解 → した上で、保育しています。	2	全体的園の評価	
5 月・週・日案などが実際の子どもの姿、興味・関心に合ってい → たか、という点から自分の保育を評価・反省しています。	3	<p>今回も年末に当たりこの一年を振り返る自己評価を実施し、園や保育内容について具体的に見直す機会が出来たのではないかとと思う。</p> <p>グループで話し合うことによって それぞれの保育士の気づきや課題が明確になっ → 来たと思う。それが具体的に以下の3点に集約される。</p> <p>1. 保育の質(理念)の向上と方針(まことの保育)について</p> <p>2. 子どもへの関わり方について</p> <p>3. 保育者の資質「専門性・日ごろの学び」等について</p> <p>新光保育園の保育理念「仏教(まことの)」保育の理解と実践を深めていくこと → が、大切であり、月1回の勉強会のみならず、研修の機会を計画的に実践参加した</p> <p>今年は保育士不足の中、外部の研修会に予定通り参加することが困難であった。 → しかしながら、保育の質を高める上でも、日々の学びの提供として、業務日報の裏面に「気になる子への対応」や「保護者支援について」など、日ごろの保育の間 → となりやすい課題を、保育者の参考例として提示するなどの工夫に取り組んだ。 → 今後は、日ごろの保育の個別の課題について、全体で研究し深める時間を今以上に → 確保できるように業務内容についても精査をしていきたい。</p>	
6 食について保育士と給食従事者が意見交換の場を持ち、連携 → して食育活動をしています。	3		
7 献立に旬の食材を取り入れ、ほぼ100%を手作りしています。 →	2		

評価
3
2
3
2
3

評価
3
3
3
3
2

評価
2
2
3
2
3

て  
い。  
題